



(公財) 国際宗教研究所 宗教情報リサーチセンター

「ラク便利」 小特集

→他の論文・研究ノート・小特集のバックナンバーは[こちら](#)をご覧ください。

*印刷してご利用の際は2頁目以降を印刷して下さい。

小特集

韓国における COVID-19 の広まりと新天地教会

はじめに

2019年12月以降、中国湖北省武漢市を中心に発生した COVID-19 が世界的に広まり、3月末現在も感染者と死亡者が増えつつある。COVID-19 は日本では新型コロナウイルス感染症と呼ばれているが、本稿では新型コロナと表記する。世界保健機関 (WHO) のテドロス事務局長は3月11日に新型コロナはパンデミックと言えると述べた。3月31日の時点で、世界の感染者数は80万人、死亡者は3万5千人に上った。

韓国では、1月20日に新型コロナの初めての感染者が確認され、2月18日以前には31人しか確認されなかった感染者が、18日以降に南東部の大邱市^{テグ}を中心に激増し、全国的に広がりを見せた。感染が急速に拡大するなかで注目を浴びることになったのが、キリスト教系新宗教「新天地イエス教証しの幕屋聖殿」の信者における集団感染である。韓国における感染者のうち、20日時点で約半数が同教団の信者であることが明らかになったからである。韓国では「新天地」、「新天地教会」と呼ばれているが、日本のメディアでは「新天地イエス教会」と表記する例が多い(教団では「新天地イエス教会」と称す)。本稿では「新天地教会」と表記する。

以下では、李萬熙^{イマンヒ}氏を教祖(教団では総会長様と呼ばれる)とする新天地教会に関する1月から3月までの日本での報道を対象にする。韓国内での情報も一部参照して、韓国における新型コロナ感染拡大に大きな影響を及ぼした新天地教会が注目されるようになった経緯や、政府のこの教会に対する姿勢、教会側の対応策などについてまとめる。

1. 新型コロナの感染者急増で注目された新天地教会

韓国の疾病管理本部によると、3月31日までの感染者数は9,786名、隔離解除5,408名、死亡者は162名である。感染拡大が顕著になった時に注目されたのは、2月18日に大邱市で新天地教会の女性信者(60代)の感染が確認され、その後同教会で集団感染が起きていることが判明したからである。この女性信者は交通事故で入院中の同月8日に喉の痛みなどの症状を訴え始めたが、医者が勧めた検査を拒否し、その後も大邱教会の礼拝に複数回にわたって参加した。以後、同教会の信者や接触者に感染が広がったことが判明した(日経2/21ほか)。

感染者が急増した2月中旬時点で、保健当局者は「市中感染が始まった段階にある」と述べ、強い危機感を示した。20日に新たに53人の感染が確認され、韓国での感染者は計104人に上ったほか、感染者に初の死亡者が出たと発表された。韓国の感染者のうち、40人以上が新天地教会関係者であった(産経2/21)。

韓国初の死者が出たのは大邱周辺の慶尚北道の病院であるが、この病院では1月31日から2月2日までに新天地教会の李教祖の兄の葬儀があり、初の死者が出た事例との関連が指摘された。2人目の死亡者も同じ病院に入院しており、21日に釜山に移送された後に死亡している(東京2/22ほか)。

政府は 21 日、新型コロナ感染者が 120 人を超えた大邱市や周辺を感染症の「特別管理地域」に指定し、中央政府が直接対策に乗り出すと発表した。新天地教会に出入りしていた信者らの感染が大邱内外で次々に確認されたほか、信者と接触した陸軍の軍人の感染も分かり、教会関連だけで感染者は 144 人に上ることがわかった。集団感染に発展したのは、海外渡航歴がなく、自覚症状もなかった信者が、密室で行われる礼拝に複数回参加したことが原因とされた（読売 2/22）。

感染が拡大する中、大邱市は新天地教会の信者との関係が注目されるようになったので、3 月に始まる学校の新学期を延期し、市民に外出の自粛を求めた。また防疫当局は同教団の信者 1 千人余りを自宅隔離の対象とした（東京 2/22）。

保健福祉省は 22 日午前、韓国内での新型コロナ感染者が新たに 142 人増えて、計 346 人になったと発表した。同省によると、大邱とその周辺を中心に 20 日に 53 人、21 日にも 100 人増えており、感染者はこの 3 日間で約 7 倍に急増した。346 人のうち、死者は 2 人であった（朝日・夕 2/22）。

こうして大邱における突出した感染者の多さに新天地教会による集団感染が大きく関係していることが明らかになり、韓国では新天地教会への関心が一気に高まった。教会の礼拝に集まっていた 500 人ほどに症状が見られたこともわかった。政府は感染可能性のある教会関係者を 9 千人規模で隔離し検査を進めることにした。なぜ新天地教会の信者がこれほど多く感染したかについては、同教団の中国の布教拠点が武漢市であり、1 月 31 日に武漢から韓国人を乗せたチャーター機第 1 便が帰国、2 月 12 日に第 3 便までで計 841 人が帰国していることが理由だとする見方も出された（日経・夕 2/22 ほか）。

2. 新天地教会に対する政府の姿勢

感染拡大を受けて政府は、例年 3 月の小中学校の始業を延期し、イベントの自粛も呼び掛けた。丁世均首相は 2 月 21 日の対策会議で「国内への流入遮断に力を入れてきたが、これからは地域社会の拡大防止に重点を置く」と強調した（読売 2/22）。また 22 日夜、丁首相は国民に向けた談話を発表し、狭い空間に人が集まる宗教行事や、野外も含め多くの人が密集する行事を当分、控えるよう呼び掛けた。韓国はキリスト教信者が多く、日曜日に各地で礼拝などが行われる。新興宗教団体の礼拝を発端に集団感染が起きたことを踏まえ、丁首相は行事を控えるかオンラインで実施するかを求めた。インターネットを使って礼拝を中継する教会が増えた（東京 2/23）。

政府は 25 日、新天地教会から全国の信者の名簿を提出するとの合意を得たと発表した。同教会の信者数は 20 万人以上とされるが、信者全体に対して感染状況を調べる方針を打ち出した。大邱・慶北地域の封鎖の可能性については地域的な封鎖ではなく、感染の拡散を最大限遮断するということとした。政府と与党「共に民主党」は、これに先立つ会議で大邱・慶北に対し、「最大限の封鎖措置」を実施する方針を表明した（産経 2/26）。

新天地教会は当初、信者の名簿提出について個人情報流出に懸念を示したが、政府が「自発的な協力が無い場合、法的手段を講じざるを得ない」と警告したところ、提出の要請に応じたという。名簿を基に、全国の保健所や自治体が信者の感染状況の調査に着手した（東京 2/26）。政府は 25 日、同教団の信者 21 万 2 千人の名簿を確保した。症状の有無を確認

するため専任の職員を配置し、症状がある人に対しては自宅隔離と検体採取を進めることとした(東京2/27)。また26日には、同教会の海外信者3万3千人の名簿を追加で入手した。なお、新天地教会は予備信徒「教育生」についての名簿漏れの指摘に対して、教育生はまだ信者ではないと名簿提出を拒んでいたが、政府は27日に教団から6万5千以上の教育生名簿も入手したと発表した。政府が今回入手した名簿によって新天地教会の信者は31万人以上になることがわかった(聯合ニュース2/27)。

一方、国会では26日、改正感染症予防法など新型コロナ対策の関連3法が可決された。感染者との濃厚接触が疑われる人が検査を拒否した場合は300万ウォン(約27万円)以下、感染者が隔離や入院に従わない場合は1年以下の懲役または1千万ウォン(約90万円)以下の罰金が科されることとなった。不足時のマスクや消毒液の輸出禁止も盛り込まれた。ただ、新天地教会と関連のない釜山市の教会などでも集団感染が起きており、感染の封じ込めは難航した(読売2/28ほか)。

大邱市での感染拡大を受け、大統領府のホームページでは、教団の解散を求める請願への賛同が3月1日時点で110万人を超えた。ちなみに大統領府のホームページの国民請願掲示板に30日以内に20万人以上が賛同した案件については、大統領府が正式に回答することになっている。また、教団の被害者団体は、感染拡大防止を妨げたとして、感染病予防法違反などの疑いで李教祖を刑事告発し、検察が捜査を始めた。ソウル市も、保健当局の業務を妨害し死者が出たなどとして殺人容疑などで教団幹部らを告発した(東京・夕3/4)。

韓国の感染者は、3月5日に6,088人に上ったが、この時点でも新天地教会の関係者らに集中しており、65%以上が同教会信者による集団感染であった。このことから、韓国全域に感染リスクがあるとの判断には異論も出された(毎日3/6)。

韓国での記事によると、ソウル市長は、新天地教会の社団法人「新天地 証しの幕屋聖殿 イエス宣教会」の設立許可を3月26日付で取り消すと発表した。法人の取り消し理由は、この法人が設立当時の許可条件に違反し、防疫当局の防疫措置に協力しなかったという点をあげた。また、新天地教会の関連団体である社団法人「ハヌル文化世界平和光復(HWPL)」も国際活動などについて法人目的と実際の活動が違っていると判断し、法人の許可を取り消す手続きを開始すると説明した(聯合ニュース3/26)。

3. 「新天地教会」とは

新天地教会の概要については、『聯合ニュース』など韓国内の報道を一部参考としている。なお本稿執筆時には、教団のホームページは閉鎖に近い状況であった。新天地教会は1984年に教祖の李萬熙氏が自らを「キリストの再臨主」などと称して創設した新宗教団体であるが、主流派のキリスト教からは「異端」とみなされている。現在の本部はソウル近郊の京畿道果川市クァチョンに置かれている。新天地教会は、全世界に「聖殿」と称する教会が72ヶ所、布教機関「シオンキリスト教宣教センター」306ヶ所(うち海外200ヶ所)、オフィス103ヶ所、その他の施設1,048ヶ所と、関連施設が計1,529ヶ所だとする。信者数は25万3千人に達するという。教団のホームページによると日本の東京と福岡にも「教会」があり、中国の武漢市にも2019年に教会を完成したとの掲載があったが、中国教会に関しては2月末の時点で

ホームページから削除された（聯合ニュース2/23ほか）。

新天地教会の教義の特徴は、李教祖を「永生不死の再臨主キリスト」と位置づけて崇拝の対象にしていることである。教義には終末論的な色彩が強く、来る世界終末の日には李氏に従った14万4千人のみが天国に行けるとされている。信者たちは救済される14万4千人の中に入るために積極的に布教活動を行っている（聯合ニュース2/23）。

集団感染の原因は、教団特有の礼拝方式にあるとみられる。信者同士が体が触れるぐらいに密着して床に座って「アーメン」と叫び、これが1時間半以上続く。礼拝は毎週日曜日と水曜日に開かれるが、信者には原則として参加が義務付けられている。信者が密集して礼拝を行うが、神様に失礼だという理由からマスク着用は禁止される（Newsweek 3/17）。感染した女性信者が参加した礼拝には両日とも約千人が集まり、礼拝後は一緒に食事もしていたという。保健当局者は「密集した環境で礼拝を行ったため、密接な接触が多く起きた」と推定している（東京・タ3/4）。

新天地教会に関しては信者勧誘に関するトラブルが後を絶たないとされる。信者に家族との縁切りを強制したり、プロテスタント系の別の教会にスパイを送り込む手口を用いたりしているという批判がある。今回の出来事で韓国世論の怒りを買ったのは教会の隠蔽工作である。一部の信者が「礼拝には参加していない」と検査を拒否し、これが爆発的な感染拡大に繋がったとみられているからである。

また、新天地教会が「対応マニュアル」を作っていたことも明らかになった。内容は「教団外からの問い合わせには礼拝に参加していないと答えろ」などというものである。教団側は「マニュアル作成は信徒自身の判断であり教団の指示ではない」と弁明したという（週刊文春3/5）。

韓国の宗教専門テレビでは、元信者が「山動かし」という教会の手口を紹介した。これは既存のキリスト教会の長老を抱き込んで現在の牧師への不満を告げ口し、最終的に牧師を追い出す行為で、「犬を追い出す」と呼ばれる。その後は新天地の牧師が入り込んで教会を乗っ取るなどするという（日刊ゲンダイ3/2）。

韓国社会から批判の多い新天地教会であるが、韓国の報道を見ると、国外では李教祖の活動が称讃されている例もある。また先述の平和活動を行うNGO団体を持ち、天地日報という機関紙を発行するなど、かなり多彩な社会活動をしていることも知られるようになった。

4. 新天地教会側の対応

新天地教会は2月23日、声明で「深い遺憾を表明し、当局に最大限協力する」とする一方、信者に対する差別などが起きているとして「根拠のない批判は控えてほしい」と訴えた（東京2/24）。28日には、教団広報がユーチューブチャンネルを通して、「新天地に対する魔女狩りが極致に達しており、一人の聖徒が死に至った」、「新天地に対する非難と憎悪をやめてください」と要求した。また、「新天地はコロナウイルスをつくっていない。被害者である」、「全信徒と教育生の名簿を公開することもたやすい決定ではなかった」と加えた（聯合ニュース2/28）。

李教祖はSNSを通じて、信者に「今回の病魔事件は、新天地イエス教会が急成長している

のを悪魔が阻止しようと起こした仕業だ」などのメッセージを送った。また教団は声明で「ウイルスは中国からきたものであり、われわれは最大の被害者だ」と主張した（東京・夕 3/4）。

しかしながら教団は、3 月に入り姿勢を変えた。3 月 2 日に李教祖は新型コロナウイルス感染発覚後初めて記者会見を開いて謝罪した。李教祖はソウル近郊の京畿道加平郡にある教団施設前でマスク姿で記者会見に臨んだ。記者会見では報道陣を前に土下座し、声を震わせながら「教会員を代表して、国民に対して心からのおわびを表明したい。意図的なものではなかったが、多くの人が感染してしまった」と述べた（中外 3/4）。また「誰が過ちを犯したのか問い詰める時ではない」とも語った（朝日 3/3）。この謝罪の様子の映像は韓国内だけでなく日本でも広く流された。

3 月現在、新天地教会のホームページは、新型コロナウイルスに対する対応のみが閲覧できる状態である。教団について紹介するすべての項目をクリックすると「点検中」というメッセージが出て内容は閲覧できない。以下のお知らせのみが閲覧可能である。丸い円で囲まれた 2 つのお知らせと、6 つのボックスが全面に掲載されている。

2 つのお知らせは、注意事項のように目立つものである。

- ・「新型コロナウイルス関連の偽ニュースに対するファクトチェック」（コロナ関連 Q&A と告知）
- ・「新天地イエス教会の新型コロナウイルス 19 対応」（コロナに対するニュースと公式見解）

この 2 つのお知らせをクリックすると、別サイトに移動する。基本的に閲覧可能であるが、会員登録が必要などところもある。新天地教会について「歪曲」されている噂について、教団側の立場で説明している。

また、6 つのボックスの内容は以下の通りである。

- ・「新型コロナウイルス関連 新天地イエス教会聖徒の生活守則」（感染予防、検診、陰性結果が出ても当分は隔離、大衆と接触のある方は保健所検診、政府と地方自治団体の施策に積極的に協力する、という 5 つの守則）
- ・「個人情報流出に対する被害申告」（新天地イエス教会聖徒であるという個人情報が流出したことにより、強制退職、差別、侮辱などの被害など、人権被害の事例がある。地方自治団体、疾病管理本部に抗議し、証拠資料がある時は、警察署、国家人権委員会に申告してください）
- ・「新天地イエス教会の聖徒詐称に対する法的対応」（新天地イエス教会は、すべての礼拝と集まり及び活動を全面中断している状態である。聖徒と詐称して他の教会の礼拝や集まりに訪問したという悪質な虚偽情報を広めた場合、法的に厳格に対応する）
- ・「新天地イエス教会の新型コロナウイルス関連対処現況」（1 月末から 2 月末までの対処事項を表示）
- ・「全国の新天地イエス教会及び付属機関の防疫現況」（全国各地 1,100 ヶ所の施設に対して防疫が完了）
- ・「総会長様の特別手紙」（聖徒に対し、今の苦難を克服するとともに政府施策に積極的に協力するよう呼びかける内容）

むすび

新型コロナの感染者が拡大したことを機に新天地教会という教団についての実態がかなり明らかになった。その活動に対しては批判的な見解が多く見られた。しかし、ここでは触れなかったが、新型コロナ問題は言うまでもなく韓国のキリスト教界全体にも広く影響を与えている。

感染者の急増を受け、韓国の諸教団・機関は、牧会書簡や声明の形で指針を発表し、礼拝における感染防止策や今回の事態に対する心構え、祈りの題目についての伝達などを行っている。インターネット放送を通しての礼拝に切り替えることを推奨するものもある。感染者が急増した大邱市では、礼拝堂での礼拝を中止し、インターネット礼拝で代替し始めるところもあらわれた(キリスト3/11)。

一方、インターネット放送用の設備のない教会の中には、礼拝自体を休む教会も増えた。大邱地域のメソジスト教会では、設備のない教会のためにいくつかの教会が協力し、各教会の牧師が司会・祈祷・聖書朗読・説教などを分担する形でインターネット礼拝を行っている例もある。むしろこのような対応は、大邱だけでなく、韓国中に広まりつつある。韓国のカトリックは全教区でミサを中止することを発表した(キリスト3/11)。

こうしたキリスト教界の一般的な対応と比較しても、やはり新天地教会の対応は特異であることがはっきりした。今回の事態で、結果的に通常は調査しえないような新天地教会の実情まで調査されたことになる。

[文責：李和珍]

